

編 集 後 記

物性研は 1957 年に設立後、1980 年と 1998 年に組織改編が行われたあと、25 年以上も大規模な組織改編がありませんでした。現在、第 4 世代とも言える組織づくりの準備が進んでおり、来年度には模様替えがされる予定です。また、東京大学の本体についても国際卓越研究大学の議論が進んでおり、大きな変革の時期を迎えようとしています。

今号では 6 件の研究成果があり、最初は、2024 年の客員所員であった木村先生が開発された、方向二色性に基づいた手法での擬一次元量子反強磁性体の磁区の観測です。2 件目は、物性研で藤原・谷内先生が開発を続けられているレーザー励起光電子顕微鏡で、その強みを遺憾なく発揮したレジストの潜像のイメージングの研究です。3 件目には、近藤絶縁体として長い歴史をもつ YbB_{12} での磁場中での複合フェルミオンの観測で、 YbB_{12} の物理解明は未だ未だ先になりそうです。4 件目には、最近のホットトピックスである交替磁性体での、その検証となる中性子によるカイラリティの観測です。5 件目には、物性研だよりでは常連となっている Mn_3Sn で、カゴメ格子の c 面を直立させたエピタキシャル成長をおこなうという離れ業(?) による、新規のスピントルクダイオード効果の実証の成果です。6 件目は、低分子と高分子の間に位置するオリゴマーでの電荷移動をコントロールすべく開発の成果で、読んでみると「気がついた」「驚くべきことに」など、その開発の過程の様子がうかがえます。

今号には、上床先生の退職の記事もあります。高圧の研究室出身でなく、助手から高圧の研究を始められたこと、あの極小空間での職人技の端子付けを成功した学生が 2 人しか居なかったことなど、高圧の開発の歴史とともにエピソードが詰まっています。他にも受賞や研究会など、是非ご一読頂ければと思います。

鈴 木 博 之

物性研だよりの購読について

物性研だより発行のメール連絡を希望される方は共同利用係まで連絡願います。

また、物性研だよりの送付について下記の変更がある場合は、お手数ですが共同利用係まで連絡願います。

記

1. 送付先住所変更（勤務先⇔自宅等）
2. 所属・職名変更
3. 氏名修正（誤字脱字等）
4. 配信停止
5. 送付冊数変更（機関送付分）
6. メール配信への変更

変更連絡先：東京大学物性研究所共同利用係

〒277-8581 柏市柏の葉 5-1-5

メール：issp-kyodo@issp.u-tokyo.ac.jp